

# カワサキノコト

## 150万人都市 川崎の可能性

- | SPECIAL TALK | 川崎市長 福田紀彦 × SHISHAMO
- | 特集 カワサキノコト | 情熱 × つながり
- | 市内7区の魅力に迫る | カワサキ7
- | INTERVIEW | 川崎フロンターレ 中村憲剛選手 × 小林悠選手



## Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

カワサキノコト 2018(平成30)年4月発行

発行:川崎市総務企画局シティプロモーション推進室  
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 TEL044-200-2287 FAX044-200-3915  
制作:サンケイリビング新聞社横浜本部  
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-78 キリン横浜ビル6階 TEL045-661-1711 FAX045-640-1080

「カワサキノコト」は、川崎市が無料で配布しています。  
オークション等を含む転売行為および営利目的での  
使用を一切禁止いたします。また、本誌掲載の記事、  
写真、イラストの無断転載、複製、使用を禁じます。

# 150万人都市 川崎の可能性

04 オープニング

06 **SPECIAL TALK** 川崎市長 福田紀彦 × SHISHAMO  
川崎育ちのSHISHAMOが旬です



10

特集 カワサキノヒト

## 情熱 × つながり

12 【SPORTS】 島村春世選手 × 西行米さん  
“心はひとつ”をモットーに川崎から全国、世界へ

14 【CULTURE】 河原郁夫さん × 天文好き小学生  
川崎の宙のもと自分が楽しめることを一生続けていく

16 【TECHNOLOGY】 大澤重仁さん × 西銘千代子さん  
川崎に集積する最先端の技術が、世界を、未来を変える

18 【VOLUNTEER】 那須野純花さん × 武蔵小杉の街  
カジュアルで楽しいボランティアを川崎から発信



20 150万人都市記念 かわさき川柳

24 市内7区の魅力に迫る! カワサキ7

- 26 【川崎区】 川崎工場夜景 / 川崎大師
- 27 【幸区】 ミューザ川崎シンフォニーホール / 夢見ヶ崎動物公園
- 28 【中原区】 等々力陸上競技場 / グランツリー武蔵小杉
- 29 【高津区】 多摩川 / 子ども夢パーク
- 30 【宮前区】 中央卸売市場北部市場 / 電車とバスの博物館
- 31 【多摩区】 生田緑地 / 藤子・F・不二雄ミュージアム
- 32 【麻生区】 新百合ヶ丘駅周辺 / セレサモス麻生店



34

**INTERVIEW** 川崎フロンターレ 中村憲剛選手 × 小林悠選手  
「2018年も市民の皆さんと共に優勝目指して戦います!!」

39

## 川崎市 市勢要覧2018

- 40 川崎市総合計画 みんなでつくる「最幸のまち かわさき」
- 46 統計データで見る川崎市
- 50 歴史で見る川崎市
- 52 市民文化大使 / かわさきスポーツパートナー など
- 53 川崎市議会 / 市民オンブスマン制度 など
- 54 川崎市歌 / 川崎市民の歌 など



Kawasaki no Koto

# 150万人都市 川崎の可能性

真つ青に広がる空

その先にあなたはどんな景色を見ましたか

150万人を超える私たちの川崎

自然と歴史に彩られた街は

ワクワクするような成長と

ドキドキする可能性にあふれています

これはあなた自身、家族、友人、隣人：

150万人、一人ひとりの

笑顔と可能性につながって

街から人へ

人から街へ

そのつながりは次の世代へ

新しい川崎を生みだしていく







福田「『明日も』は、フロントレサポーターだけでなく、幅広い層の人たちが元気をもらった曲だと思います」  
宮崎「SHISHAMOにとって大切な曲になりました」

SHISHAMOと川崎の絆が深まった2017年  
福田 2017年は大活躍でした。紅白も最高でした。  
福田 いろいろなことがあった1年でした。紅白は「ありがたいございます」って気持ちで演奏しました。  
福田 そして、川崎の市民文化

大使に就任していただき、ありがとうございます。  
宮崎 川崎とのつながりもますます強くなって、忘れられない年になりました。  
吉川 私は小学生の頃からサッカーをやっているのですが、川崎フロンターレの始球式に参加したことは、うれしかったです。「等々力でボールを蹴られるなんて」と、ライブとは違う緊張感がありました。  
松岡 始球式の後、サポーターの皆さんに「お疲れさま」って言ってもらったのもすごくうれしかったですね。  
宮崎 2017年12月に行われたフロンターレの優勝パレードに花束プレゼンターとして参加したときは、パレードまで私たちが出て行っているのかなと不安だったんですが、サポーターの皆さんからは「紅白見ます！」ってたくさん声をかけていただいで、心強かったです。



Gt.Vo.(ギター・ボーカル)宮崎朝子

フロンターレサポーターが描いた楽曲「明日も」

福田 僕は、毎朝「明日も」を聴いているんです。曲を聴くと、「よし！今日もがんばっていきましょう！」という気持ちになります。  
宮崎 「明日も」は、初めて等々力陸上競技場にフロンターレを見に行ったとき、全力で心を込めて応援している皆さんの姿がすごく気になってつくった曲です。毎日、仕事や学校で頑張っていて、週末ここに来て元気をもらって、また仕事や学校に行っているんだろうなって想像して詞を書きました。だからたくさんの方が共感してくれて、「いつも『明日も』を聴いてスタジアムに向かってます！」みたいと言ってくれるのを聞いて、ほっとしたんです。今となっては私がこの詞に共感できるくらいサポーターになりましたけど(笑)。



Ba(ベース)松岡彩

吉川 「明日も」はフロンターレの応援にも使われています。私



Dr(ドラム)吉川美芽貴

福田 SHISHAMOの皆さんがスタジアムで普通に歩いているのを見たときは、びっくりしました(笑)。すごく受け入れて、ちと会わせてくれた曲でもあります。  
宮崎 みんな「あ、来たね」くらい(笑)。SHISHAMOって言うよりも、サポーター仲間として見てくれているっていうのは感じますね。

SPECIAL TALK

川崎市長 福田紀彦 × SHISHAMO

# 川崎育ちのSHISHAMOが旬です

2017年、NHK紅白歌合戦にも初出場した川崎発の3ピースロックバンド・SHISHAMO。川崎を愛する3人と、いつもSHISHAMOの楽曲に力をもたらしているという福田紀彦市長に、川崎と音楽のこと、川崎とSHISHAMOのこれからのことを、たっぷりお話しいただきました。







SHISHAMO

2010年、川崎市立川崎総合科学高校軽音楽部で結成。在学中より全国ツアーを敢行するなど、精力的に活動。卒業後の2013年11月に、アルバム「SHISHAMO」でCDデビューを果たす。2014年、松岡彩が加入。2017年、NTTドコモのCM曲「明日も」が話題となり「NHK紅白歌合戦」初出場。2018年3月にシングル「水色の日々」リリース。7月28日には、等々力陸上競技場にて初のスタジアムワンマンライブ「SHISHAMO NO 夏MATSURI!!!〜たっだいま川崎2018〜」を開催。

## 等々力ライブでは、川崎の街も楽しんでほしい

どのジャンルもウエルカム  
川崎で文化が育つ理由

福田 川崎って非常に多文化で、文化のつぼみだと感じています。都会でありながら人の温度も感じられて、どんな文化でもウエルカムという雰囲気があって。例えば音楽では、世界で活躍する多くの指揮者が「世界最高のホール」と言ってくた

さるミュージアム川崎シンフォニーホールがある。一方で、ストリートミュージックも多く「カワサキストリートミュージックパトル」というイベントが行われていたり、「かわさきジャズ」というジャズの祭典も毎年開催されています。いろいろなジャンルがごちゃまぜに存在しているところこそ川崎らしさだと思います。

## 新しいことに挑戦してワクワク感のある街をつくる



Norihiko Fukuda

1972年生まれ。川崎市立長沢小学校、川崎市立長沢中学校卒業後、渡米。米国アトランタマッキントッシュハイスクール卒業。米国フォーマン大学政治学専攻卒業。神奈川県議会議員、神奈川県知事秘書、早稲田大学マニフェスト研究所客員研究員などを経て、2013年川崎市長に就任する。2017年10月に再選を果たし、2期目。宮前区在住。

行ったことがある。でも今回は、SHISHAMOが生まれ育った川崎に、全国のファンを招待する。という気持ち。ライブだけでなく、川崎の街も楽しんでほしい。いろいろなところに行っています。いろいろなところに行っています。地元としてはこんなうれしいことはないですね。川崎を知らなかった

人にも川崎に興味をもってもらうきっかけになります。等々力のライブもそうですが、やったことがないからやらない、ではなくて、ハードルがあったり越えて、新しいチャレンジをしていこうという姿勢が大事だと思います。川崎は全国の政令指定都市の中で、市民の平均年齢が一番若いんですね。若い人たちにあって川崎は、何かできるかもしれないという雰囲気があるんだと思います。川崎市としても、これからのいろいろなことにチャレンジすることで、ワクワク感のある街をつくっていききたい。だから、SHISHAMOにはすごく期待しています。僕自身もそうですが、川崎から生まれたバンドということをもっと活躍してほしいです。松岡 これからもたくさんの方に知ってもらいたい。歌がみんなに伝わるように頑張ります。吉川 心を健康に、目の前のことを真摯にやっています。今年も等々力です、大きなライブがありますので、そこに向けて一つひとつのことを丁寧に取り組みたいですね。宮崎 SHISHAMOとして今回のライブは一つの節目になるライブだと思います。気持ちを入れてやっていきます!



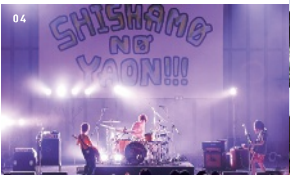
この日はSHISHAMOの3人に、川崎にまつわる色を折り紙にした「かわさき折り紙」から、自分にとっての川崎カラーを選んでもらいました。

松岡「京浜工業地帯のシルバークレー」。工場地帯のイメージがあるので宮崎「南武線の黄色」。練習スタジオに行くために毎日乗っていたので吉川「多摩川の水色」。高校も近かったです、練習のスタジオも川の近くだったので



01

02



05

06

01-02-04-05-06 SHISHAMO NO YAON!!! 2017EAST / 日比谷野外音楽堂  
03 SHISHAMOワンマンツアー2017秋 / Zepp DiverCity(TOKYO)  
07 2017年7月23日、川崎フロンターレ2017ファン感謝デーに参加。選手、サポーターと「明日も」を熱唱





NO.01  
SPORTS

川崎から  
全国、  
世界へ



NO.02  
CULTURE

「これだ」と  
いうものを  
掴んでほしい



川崎市に関わるあらゆる人が  
自分らしく、輝ける都市へ  
愛せる地域や場所  
そして仲間を  
誰もが持てる都市へ  
新たな希望が  
生み出される都市へ  
「情熱」を持ち  
「つながり」を大切にしながら  
自分らしい夢や  
目標に向かっていく  
「カワサキノヒト」を紹介します



NO.03  
TECHNOLOGY

キング  
スカイフロント発の  
薬をつくりたい



NO.04  
VOLUNTEER

川崎に  
地元愛を  
根付かせたい

一人ひとりの情熱が、新しい川崎を生み出す

# 情熱 × つながり







島村選手と橘高校のバレーボール部の皆さん(撮影:2017年12月)



「心はひとつ」を  
モットーに  
川崎から全国、世界へ

JR南武線沿いに隣り合うように建つ、NEC玉川事業場と橘高校。同校出身で、女子バレーボールのトップチーム、NECレッドロケッツに所属する島村春世選手と、橘高校女子バレーボール部キャプテンの西行米さん。2人に「橘バレー」について聞きました。

## 2020年日本代表としてコートに立つ



Haruyo Shimamura

1992年3月生まれ。2010年よりNEC所属。リオデジャネイロオリンピックでは、全日本メンバーとして活躍。背番号1。ポジションはミドル。身長182cm



橘高校を選びました。  
島村 橘高校のバレーボール部は先輩、後輩のつながりが強く、全員が心をひとつにして戦っていくのがチームのスタイル。それが魅力だと思います。試合で掲げられる「心はひとつ」という横断幕も大切にしたいですね。



手づくりのマスコットでチームに力を

シン。攻撃のバリエーションを広くするために、速い攻撃だけでなく、バックアタックや高さのある攻撃も常に練習しています。他の選手とは違う、私のミドルのベースは、橘高校で培ってきたものだと思います。これからチームとしてリーグ戦の優勝を目指し、個人として2020年の東京オリンピックを目指して頑張ります！

西行 そうですね。コートの中にいる人を全員でサポートできるように全力で応援していると、「心はひとつ」にしているなと感じます。  
島村 選手はもちろんです。マネージャーさんもすごくいろいろなことに気を配ってくれて、選手を支えてくれているから、のびのびとプレーできました。  
西行 先輩たちからずっと続いていて、大きな大会前にはマスコットをつくって、「心はひとつ」にします。インターハイの予選では2年生が3年生と1年生に、春高予選では1年生が2年生にマスコットを手づくりしました。  
島村 私たちの代では、3年生全員のマスコットをつなぎ合わせるという「心はひとつ」という文字と名前も入りました。ひとつひとつ愛情を込めてつくってくれて、そのおかげで全国大会に出られたと思います。

西行 すぐ近くに島村先輩がいることも、私たちの力になっています。先輩の活躍を見て、自分たちも負けられないように頑張ろうと日々、練習に取り組んでいます。  
島村 うれしい。私も橘高校の試合はとっても気になってチラチラしては、一喜一憂しています(笑)。橘高校時代のポジションはレフトだったけど、今はミドルポジ

V・プレミアリーグ NECレッドロケッツ

## 島村春世選手



川崎市立橘高校 女子バレーボール部

## 西行米さん

### NEC レッドロケッツ

川崎市をホームタウンとする女子バレーボールチーム。V・プレミアリーグに所属し、2016～2017シーズン優勝。「かわさきスポーツパートナー」として、地域活動なども積極的に行っている。

### 川崎市立橘高等学校

1942年創立。スポーツ科もあり、全国レベルの部活も多数。女子バレーボール部は全国大会での優勝経験もあり、県下有数の強豪校としても知られている。昨年は県内ベスト4。

## 高校ラストの年、全国で活躍する



Mai Saigo

市立橘高校女子バレーボール部キャプテン。背番号1。ポジションはリベロ

西行 私も今年が高校ラストの年。昨年は出場できなかったのですが、先輩たちの分も勝ち抜いて全国大会に行きたいです。  
島村 私もリーグ戦で戦っているのですが、一緒に頑張ろうね。





# 川崎の宙のもと 自分が楽しめることを 一生続けていく



プラネタリウム弁士

河原 郁夫さん

天文好き小学生

「これだ」というものを掴んでほしい

数多くの文化施設がある川崎市。そのひとつ、「かわさき宙と緑の科学館」には、川崎市のために開発された世界最高水準のプラネタリウムがあります。ここで87歳の今も現役のプラネタリウム弁士を務める河原郁夫さんが、天文に関心をもつ2人の地元小学生に、星空の魅力を伝えます。



河原 川崎は都会で夜も明るいから、星は見えないと思ってる人が多いかもしれない。でも夜半過ぎると明かりが減って、星座が見えることも多い。小さい双眼鏡でも、3等星くらいまでは確認できます。

2人は星に興味がありますか？  
安藤 もともと理科が好きで、「かわさき宙と緑の科学館」で初めてプラネタリウムを見て、「こんなものがあるんだ！」ってびっくりしました。



神保 私も「かわさき宙と緑の科学館」で初めて体験して、「すごいきれいだな」と思いました。

河原 私はね、小学4年生のときに父に有楽町にあったプラネタリウムに連れて行ってもらい、すっかり夢中になりました。真暗になると星が出て、BGMがとてもしずきだね。お小遣いをためて毎週のように通うようになりました。まさかそれが60年続いた自分の仕事になるとは思わなかったですが、安藤 今、僕たちは、プラネタリウムの操作や解説を体験できるワークショップに参加しているんです。

河原 それはいいですね。なかなか難しいですよね。私は、自分が小学生のときに見たような魅力があるプラネタリウム解説を目指しています。今でも満足できません。毎回、自分の解説を録音して聞き返し、お客様によく伝わるように試行錯誤しています。

神保 そんなことに気を付けているんですか？

河原 はっきり発音するために、深呼吸をして、おへそに力を入れて話します。マイクの使い方も工夫しています。あとは、お客様に合わせる。プラネタリウムは赤ちゃんから高齢者までいろいろな人がいらしゃいます。「今日はいいお天気ですね」といった雑談から始めて、お客様が聞く態勢になったら解説に入る。原稿通りではなく、お客様の様子を見て、臨機応変にアドリブを入れながら話します。ワークショップのほかに取り組んでいることはありますか？  
神保 私はこの間、天文宇宙検定を受けました。

河原 小学生のうちに知識を身につけるのはいいことですね。私の知識の多くは、小学生のときに覚えたことなんです。皆さんには、天文に限らず、子どもたちに、何かひとつ「これだ」というものを掴んでほしいですね。自分が楽しめることを探して、それを一生続けられれば一番いいと思いますね。

安藤 これからやりたいことはありますか？

河原 17年後の2035年、次に日本で見られる皆既日食を見たいと思っています。そのときは104歳になっています。北関東などで見られるので2人にもぜひ見てほしい。そのときお会いできるかもしれませんね。

## かわさき宙と緑の科学館



川崎市出身のプラネタリウムクリエイター・大平貴之さんが開発した投影機「メガスターⅢフュージョン」を使用したプラネタリウムは、世界でも最高水準。ほかにも、川崎市の自然を紹介するコーナーなどがある。  
川崎市多摩区栢形 7-1-2  
TEL 044-922-4731  
FAX 044-934-8659



Ikuro Kawahara  
1930年生まれ。1957年より旧五島プラネタリウムでプラネタリウムの解説を始める。その後、神奈川県立青少年センター等で活動。現在も、かわさき宙と緑の科学館で月に一度プラネタリウム弁士を務めている

プラネタリウム弁士を体験できるワークショップに参加しています

安藤 充輝さん(小学6年生) 写真左



宇宙のふしぎに興味があります。天文宇宙検定3級にも挑戦しました

神保 美結さん(小学5年生) 写真右

※学年は2018年1月現在



キングスカイフロント発の薬をつくりたい

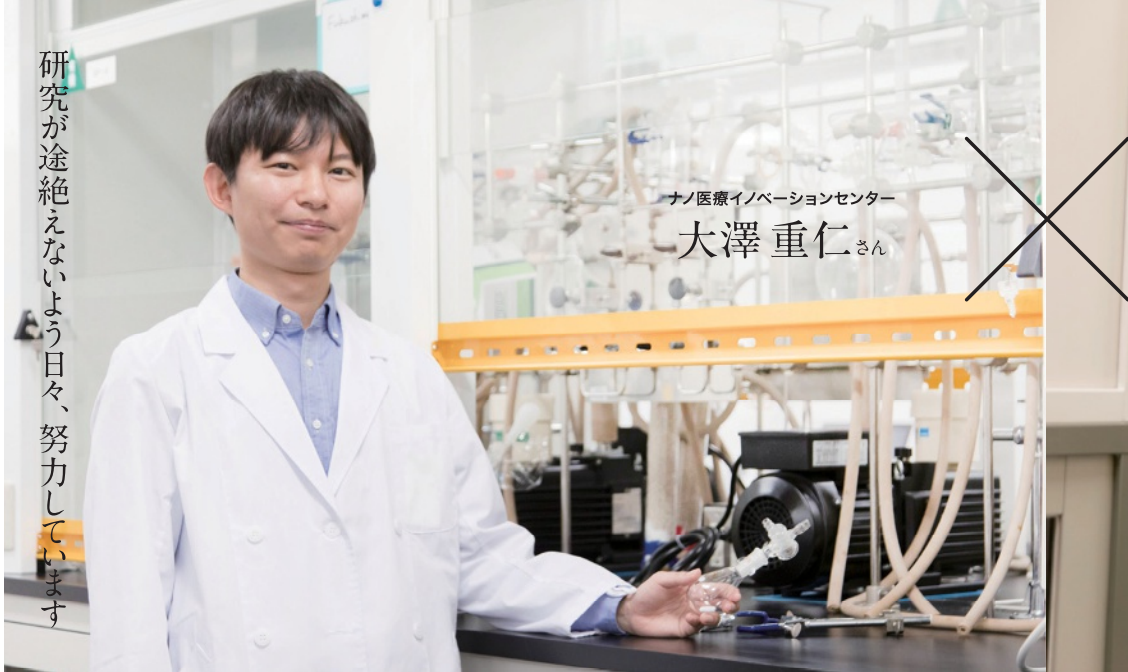


実験動物中央研究所  
西銘千代子さん

Chiyoko Nishime

研究員 博士(医学)/麻布大学卒業後実中研へ。慶応義塾大学大学院医学研究科修了後、慶応義塾大学医学部医化学教室職員を経て現職。子どものころから生物が好きで実中研が宮前区にあったころ、「大人になったらここで働きたい」と思っていた夢を実現した。川崎市出身

ナノ医療イノベーションセンター  
大澤重仁さん



研究が途絶えないよう日々、努力しています

Shigehito Osawa

ICONM客員研究員(東京理科大学理学部第一応用化学科助教)/東京大学工学部マテリアル工学科卒。大学入学当時は天文学に興味を抱いていたが、大学4年生のときに現ICONMのセンター長かつ東京大学特任教授である片岡一則さんと出会い、「片岡先生の元で仕事がしたい」と研究員に

公益財団法人  
川崎市産業振興財団  
ナノ医療イノベーションセンター (ICONM)

大学・企業・研究機関が一堂に会した研究施設。がんの治療やアルツハイマー病の治療率向上を目指し、研究を行っている。2015年設立。

公益財団法人  
実験動物中央研究所 (実中研)

実験動物の研究・開発と実験動物を用いた人の病気の研究と解明。医療の発達と人々の健康・福祉の向上に貢献することを目的としている。1952年設立。2011年キングスカイフロントに移転。



川崎に集積する  
最先端の技術が、  
世界を、未来を変える

川崎市の臨海部にあるキングスカイフロント。世界最高水準の技術で、健康や医療を中心とした数々の研究が行われています。そんな研究に従事する若い研究者の2人に話っていたきました。

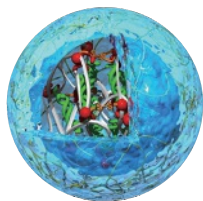
大澤 キングスカイフロントに来て3年が経ちました。新たな研究所がどんどん建ってきていて、日本のライフイノベーション(医療改革)を先導していると感じます。大手製薬会社が撤退してしまう研究も、ここでは続けることができ、夢のある場所です。

西銘 それぞれの分野で同じ目標に向かって、同じ志をもつ研究者が集まっているので、お互いがとても刺激になります。

大澤 私は今、核酸を疾患部位に正しく届けることを研究しています。核酸とは、体の中のタンパク質の設計図のようなもの。病気になるタンパク質に異常が出るので、核酸を送ることで疾患を治療できます。ただ核酸は



場がたくさんあります。最近ではそれらの工場技術を活かして医療分野に参画される企業も多くあります。キングスカイフロントに集う科学者や研究者たちのつながりはもちろんですが、医療分野に興味をもって地元企業の方とも協力し合いながら地域全体を活性化していければいいなと思っています。



「ナノマシン」  
がん細胞のみ取り込まれる機能をもったナノメートル(10億分の1m)サイズのカプセル

西銘 このエリアは重化学工業や軽工業などの古くから続く工業地帯です。大澤 本当に楽しかったです。ちょっとした作業もしてもらいました。あの中から将来、研究者になってくれる子がいたらうれしいですね。

殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」



羽田空港 多摩川  
キングスカイフロント  
羽田空港まで車で10分とアクセス抜群

世界最高水準の研究から新産業を創出するオープンイノベーション拠点。健康・医療・福祉・環境などの課題の解決に貢献するほか、この分野でのグローバルビジネスを生み出すことで日本の成長戦略の一翼を担う。





## カジュアルで楽しい ボランティアを 川崎から発信



グリーンバード武蔵小杉・リーダー  
那須野純花さん

武蔵小杉の街

### 川崎に「地元愛」を根付かせたい

「川崎で活動していることが私のアイデンティティ」。川崎に住む大学生・那須野純花さんは、武蔵小杉駅周辺で、ごみ拾いボランティアチームのリーダーとして活動しています。

#### ボランティアで 街の良さを再発見

高校生の頃、学校以外の友だちが欲しくてボランティア活動に参加するようになりました。その後グリーンバードでチームをひとつ任されることになったとき、地元の川崎で通学経路の武蔵小杉なら続けられそうだったので、グリーンバード武蔵小杉を立ち上げました。活動を始めると、武蔵小杉にはキラキラした街という印象だけでなく、暮らしたに根付いた良さもあるとわかりました。ごみ拾いを通して、改めて商店街の人や地元の人と話すことで、街を

知ることができたんです。だから、いろんな地域ともつながってどんどん参加してもらって、武蔵小杉の良さを知ってほしいです。

#### 参加者に 「人と話そう！」を推進

ごみ拾いの前に、当日集まってくれた人に、「楽しむ！」「参加者全員と話そう！」って伝えていきます。私たちのチームでは、ごみ拾いはあくまでも手段。ごみ拾いに熱中するよりも、コミュニケーションをとって地域の良さを知ってほしい、というのが願いです。私はずっとコミュニケーションが下手だったん

ですがごみ拾いのボランティアをしていると自然と会話が弾んで、すごく楽しいんです。たった1時間ですが、心の変化は大きいです。

#### これからの川崎で 行いたいこと

川崎のいいところは寛容なところ。転入者が多い土地だから、誰でも受け入れる温かい環境が広がっていると思います。私はそこに、地元愛を根付かせたい。特に、10代20代の若い子たちに、地域に目を向けることはつながりを広げること、自分を成長させることになりました。ボランティアは真面目・地味ではなく、「カジュアルで楽しい！」と感じさせるような活動を、川崎から発信していきたいです。



Ayaka Nasuno

1997年8月生まれ。高校2年のときに学生主体のボランティア団体に参加、高校3年で「グリーンバード武蔵小杉」を立ち上げる。川崎の魅力を発信する活動など、幅広い分野で活躍している



ビブスや手袋もオシャレに

#### グリーンバード武蔵小杉

グリーンバードは、「KEEP CLEAN, KEEP GREEN.」を合言葉に街のごみ拾いを行うプロジェクトで、国内外で83チーム(\*)が活動。川崎市内では、武蔵小杉チームのほか、川崎駅、新城中原、溝の口、宮前平、新百合ヶ丘のチームがある。\*2017年3月現在

#### column

### こちらも武蔵小杉で活動中! 新旧住民をつなぐ「エリマネ」

#### 「住み続けたい街」を目指したい



理事長 安藤均さん

エリマネは、「コスギフェスタ」など街のイベント、さまざまな交流会を企画・運営しています。目的は、マンション住民と地元の町内会や商店街とがつながり、情報を共有する場をつくること。実際の活動では、新旧問わず多くの住民の皆さんがボランティアとして活動に参加し、仲間として交流を深めています。住民が協力し合うことで、長年休止していた夏の盆踊りを復活させることもできました。よく、武蔵小杉は「住みたい街」といわれますが、これからは「住んでよかった」といわれるようにしたいです。住民の思いを大切に、エリマネがうまく新旧住民や自治体、企業を巻き込みながら、「住み続けたい街」を目指します。



#### NPO法人 小杉駅周辺エリアマネジメント

2007年に誕生。ボランティア活動をベースにイベント運営や防災・防犯活動などを行っている。

再開発が進む武蔵小杉で、以前から暮らす住民と新しい住民との橋渡しを行っているのがNPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント、通称「エリマネ」。理事長の安藤均さんに、活動内容や目標について伺いました。





川崎市長賞

# かわさき川柳

応募総数 16,421句

150万人都市記念  
カワサキノコト選

川崎市長賞

川崎市議会議員賞

川崎市観光協会会長賞

2017年、川崎市の人口が150万人を突破したことを記念し、「川崎」をテーマにした川柳を募集しました。入賞作品200句の中から一部をご紹介します。

川崎の  
市歌を歌って  
町を知る

川崎市歌には川崎の魅力が詰まっています。歌って知って、それを未来へ伝えていくください。

さげびたい  
好きです川崎  
愛のまち

「さげびたい」という言葉から始まるところに、強い川崎愛を感じます。川崎っ子はこの市民の歌が大好きです。

カップルが  
見つめる夜景  
残業の光

見事な川柳。カップルがロマンチックな雰囲気にならなっている夜景。それは働く人々の灯す残業の光でもあるということの認識も忘れないうようにしてほしいもの。

4人目だ  
人口増加に  
また貢献

第4子の誕生。少子化が問題となっている今日にあつて、まことにおめでたいこと。150万人を突破した川崎市にとっても、万々歳。

このまちに  
百五十万の  
笑顔あり

川崎市賛歌の川柳。老若男女、皆がそれぞれ笑顔で日々を過ごすことができることは行政と市民の一体化があつてこそ実現できること。

七つの区 ラッキーマン かわさきし  
川崎は日本一のサラダボウル  
弁当がぎゅうぎゅう漬され 南武線  
南北で 天気が進う 川崎市  
赤札に二十日大師の 長い列

川崎商工会議所会頭賞

夜の海 工場夜景を一人じめ  
なしの笑の匂いがする秋 ぼくの町  
川崎駅人をよけるの うまくなる  
南武線 早く欲しいな 7両目  
我が住い 武蔵小杉とさりげなく

川崎市文化財団理事長賞

十月は 魍魎魍魎が 集う町  
かわさきは 自然と都市の ミルフィーユ  
街なみも 工場夜景も インスタ映え  
150!! 血圧でなく 人口です  
緑増え 鼻毛伸びずに 健康に

音楽で1つになるよ 愛の街  
芸術は 秋だけじゃない 川崎市  
大晦日 川崎大師 道がない  
南武線 車窓の景色 高層化  
出身は 今は堂々と カワサキと

## 入賞作品の一部を紹介します

- 150万人都市賞  
川崎は五七五には納まらない  
人が増えコウノトリさん たいへんだ  
健康給食おいしいで賞  
「弁当より 給食が好き」 ままほ激怒  
技術と英知のまち賞  
サッカーも先端技術も「フロンタール」  
シヨッピング楽しいで賞  
おしやれしてアトレアゼリアゾーンナへ  
川崎フロンタール賞  
感動泣くうれし涙に、もらい泣き  
シヤレない!! それなら風宮編 あげちやうよ  
青黒に 金に輝く 星一つ  
J青覇 老若男女の 目に涙  
諦めない 心が咲かせた 悲願花

- 藤子・F・不二雄賞  
川崎はドラえもんて 夢いっぱい  
魅力発信するで賞  
ジャズに酔い 夜景にめざめて 終電車  
夏空に SHISHAMOが泳ぐ 等々力劇場  
川崎の味で賞  
久寿餅と 鉛を土産に 母来る  
チッタ賞  
仮装して川崎いこう ハロウィンは  
川崎の農で賞  
給食の おいしいわけは 地産地消  
川崎大師賞  
年はじめ 頼み集まる 川崎大師  
母なる川 多摩川賞  
多摩川の 花火で笑顔 照らしだす

- 南武線でGOで賞  
川崎に4人のムサシ 名を連れ  
川崎の歌で賞  
出発を 市歌が見送る 南武線  
スポーツのまちで賞  
3年間 本気でやりたい、バレエボール  
文化輝くまちで賞  
六・八・九 夢を語った 昭和人  
生田緑地賞  
古民家と 星と太郎で 育った娘  
魅力ある公園賞  
道灌の 夢見ヶ崎に 眠る夢  
学びは楽しいで賞  
学校へ行けばいつもの 笑顔だよ  
ベコベコ おなかのチャイムが フライイング

選考にあたっては、復本一郎氏(神奈川県立大学名誉教授)、白井達夫氏(横浜国立大学非常勤講師)、前田博明氏(市教育委員)、伊藤藤理子氏(元小学校校長)をお願いしました。  
また、藤崎昭氏(川崎市名誉市民)、中村選手・小林選手・谷口選手・大島選手・鬼木監督(川崎フロンタール)など多くの方に、ご自身が活躍されている分野からお気に入りの句を選んでいただきました。

たくさんのご応募ありがとうございました。  
4歳から94歳まで7,600人を超える方から16,421句の川柳が寄せられました。思わず突っ込まうものから、「あるある」とうなずけるものまで、川崎愛にあふれた作品ばかりです。ぜひご覧ください。



応募作品を読む福田紀彦市長

入賞作品は市ホームページで公開中  
かわさき川柳 検索